

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年2月8日

【四半期会計期間】 第80期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 高压ガス工業株式会社

【英訳名】 KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 竹内弘幸

【本店の所在の場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北隆行

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北隆行

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第79期 第3四半期 連結累計期間	第80期 第3四半期 連結累計期間	第79期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	54,003,479	56,609,576	72,724,890
経常利益	(千円)	4,200,764	3,878,925	5,543,790
四半期(当期)純利益	(千円)	2,182,150	2,149,485	2,734,846
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,917,593	2,171,043	2,883,657
純資産額	(千円)	37,523,348	39,925,359	38,473,411
総資産額	(千円)	65,897,350	70,668,937	69,547,354
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	39.58	39.01	49.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	55.0	54.4	53.4

回次		第79期 第3四半期 連結会計期間	第80期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	14.84	14.36

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要による緩やかな景気回復の下支えがあったものの、海外経済の減速傾向を背景に、長期化する欧州の金融不安や中国との関係悪化による需要の減少などにより、国内景気は後退の兆しをみせながら推移いたしました。

このような状況のもと、グループ全体の連携や販売体制の強化をはかるとともに、効率化に努めながら積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は566億9百万円（前年同期比4.8%増加）、営業利益は34億90百万円（前年同期比11.0%減少）、経常利益は38億78百万円（前年同期比7.6%減少）、四半期純利益は21億49百万円（前年同期比1.4%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガス事業

主力製品の『溶解アセチレン』は、一部の復興需要や新規需要先の開拓があったものの、造船業界向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、酸素、炭酸ガスが鉄鋼、建機、自動車向けに、また、窒素、アルゴンが電機、化学、非鉄金属、半導体向けなどの需要がそれぞれ減少したものの、LPガス等の石油系ガスは新規需要先の獲得や輸入価格の上昇に伴い、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資の凍結や溶接棒等の消耗品関係の需要が減少したものの、設備関連機器の大型スポット需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、特殊容器の需要が伸長したものの、各種シリンダーガスの需要の低迷により中容器は減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は429億8百万円（前年同期比4.4%増加）、営業収入は1億86百万円（前年同期比6.8%減少）、営業利益は31億12百万円（前年同期比16.2%減少）となりました。

化成品事業

『接着剤』は、ペガールが接着用、塗料用に、また、粘着用も新規用途のテープ用、ラベル用にそれぞれ需要を伸ばしました。瞬間接着剤シアノンが、弱電関係の需要が減少したものの、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、室内温度の上昇を防ぐ遮熱塗料クールトップの需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は130億69百万円（前年同期比6.7%増加）、営業収入は7百万円（前年同期比23.5%減少）、営業利益は10億39百万円（前年同期比18.0%増加）となりました。

その他事業

L S Iカードの需要の減少と海外向け容器等の需要の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6億31百万円（前年同期比5.4%減少）、営業利益は47百万円（前年同期比50.0%減少）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費は2億3百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,577,526	55,577,526	大阪証券取引所 (市場第一部) 東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	55,577,526	55,577,526		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		55,577,526		2,885,009		2,738,251

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成24年9月30日の株主名簿により記載しています。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 455,000		
	(相互保有株式) 普通株式 92,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 54,548,000	54,548	
単元未満株式	普通株式 482,526		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,577,526		
総株主の議決権		54,548	

- (注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれています。
 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式及び相互保有株式が次のとおり含まれています。
 自己株式 270株
 相互保有株式 スズカファイン(株) 231株
 スズカケミー(株) 560株
 名岐溶材(株) 133株(こうあつ共栄会名義)

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 高压ガス工業株式会社	大阪市北区堂山町1-5	455,000		455,000	0.81
(相互保有株式) スズカファイン株式会社	三重県四日市市塩浜町1	41,000		41,000	0.07
スズカケミー株式会社	佐倉市石川熊野堂620-1	43,000		43,000	0.07
名岐溶材株式会社	岐阜市手力町1-4	1,000	7,000	8,000	0.01
計		540,000	7,000	547,000	0.98

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持分数	こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,292,635	13,426,501
受取手形及び売掛金	1 22,969,975	1 24,853,256
商品及び製品	2,380,581	2,319,719
仕掛品	361,895	538,142
原材料及び貯蔵品	1,170,450	1,128,522
繰延税金資産	741,857	625,105
その他	169,113	255,350
貸倒引当金	161,923	157,913
流動資産合計	42,924,586	42,988,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,602,470	5,109,379
機械装置及び運搬具(純額)	1,932,960	1,996,679
土地	12,112,466	12,628,700
建設仮勘定	282,167	299,323
その他(純額)	663,866	739,815
有形固定資産合計	19,593,931	20,773,898
無形固定資産		
のれん	137,270	126,670
その他	189,432	141,876
無形固定資産合計	326,702	268,546
投資その他の資産		
投資有価証券	5,222,470	5,137,792
繰延税金資産	472,624	423,238
その他	1,124,218	1,201,599
貸倒引当金	117,179	124,821
投資その他の資産合計	6,702,133	6,637,808
固定資産合計	26,622,767	27,680,253
資産合計	69,547,354	70,668,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 17,309,062	1 19,348,180
短期借入金	3,504,000	2,662,800
1年内返済予定の長期借入金	43,171	1,639,996
未払法人税等	1,140,941	344,807
賞与引当金	1,084,347	578,815
その他	1 2,546,564	1 2,559,044
流動負債合計	25,628,086	27,133,644
固定負債		
長期借入金	3,663,347	2,033,350
繰延税金負債	403,533	393,817
退職給付引当金	255,794	192,600
役員退職慰労引当金	207,551	30,615
負ののれん	2,218	1,109
その他	913,411	958,441
固定負債合計	5,445,856	3,609,933
負債合計	31,073,942	30,743,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885,009	2,885,009
資本剰余金	2,745,142	2,745,142
利益剰余金	31,064,607	32,497,472
自己株式	239,790	242,181
株主資本合計	36,454,969	37,885,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	742,029	605,366
その他の包括利益累計額合計	742,029	605,366
少数株主持分	1,276,412	1,434,550
純資産合計	38,473,411	39,925,359
負債純資産合計	69,547,354	70,668,937

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	54,003,479	56,609,576
売上原価	38,692,707	41,530,169
売上総利益	15,310,771	15,079,407
営業収入	209,684	193,616
営業総利益	15,520,456	15,273,024
販売費及び一般管理費	11,593,882	11,782,063
営業利益	3,926,574	3,490,960
営業外収益		
受取利息	4,742	4,064
受取配当金	121,861	116,538
受取手数料	67,522	77,141
負ののれん償却額	1,972	1,109
その他	348,976	345,595
営業外収益合計	545,074	544,448
営業外費用		
支払利息	60,795	58,187
環境対策費	122,368	-
その他	87,720	98,296
営業外費用合計	270,884	156,484
経常利益	4,200,764	3,878,925
特別損失		
投資有価証券評価損	16,493	808
ゴルフ会員権評価損	2,950	400
特別損失合計	19,443	1,208
税金等調整前四半期純利益	4,181,320	3,877,717
法人税、住民税及び事業税	1,348,929	1,332,664
法人税等調整額	475,886	237,181
法人税等合計	1,824,816	1,569,845
少数株主損益調整前四半期純利益	2,356,504	2,307,871
少数株主利益	174,353	158,385
四半期純利益	2,182,150	2,149,485

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,356,504	2,307,871
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	438,910	136,828
その他の包括利益合計	438,910	136,828
四半期包括利益	1,917,593	2,171,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,760,505	2,012,822
少数株主に係る四半期包括利益	157,088	158,220

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴ない、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。 これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理

当四半期連結会計期間末日は、金融機関の休日にあたりますが、満期日に決済が行なわれたものとして処理しています。当四半期連結会計期間末日満期手形は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	1,202,609千円	1,046,776千円
支払手形	1,051,805千円	933,399千円
設備支払手形	6,019千円	46,400千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	1,139,238千円	1,094,851千円
のれんの償却額	31,242千円	30,600千円
負ののれんの償却額	1,972千円	1,109千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	386,113	7	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	330,919	6	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	385,887	7	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	330,733	6	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,093,125	12,242,801	667,552	54,003,479		54,003,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	199,724	9,959		209,684		209,684
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	41,292,850	12,252,761	667,552	54,213,164		54,213,164
セグメント利益	3,716,905	880,023	95,212	4,692,141	765,567	3,926,574

(注) 1 セグメント利益の調整額 765,567千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,908,809	13,069,334	631,432	56,609,576		56,609,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	186,000	7,616		193,616		193,616
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	43,094,810	13,076,951	631,432	56,803,193		56,803,193
セグメント利益	3,112,750	1,039,123	47,556	4,199,430	708,469	3,490,960

(注) 1 セグメント利益の調整額 708,469千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	39円58銭	39円01銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,182,150	2,149,485
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,182,150	2,149,485
普通株式の期中平均株式数(株)	55,121,019	55,089,445

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(中間配当)

平成24年11月13日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり中間配当を行なう旨決議し、配当を行なっています。

- 1 中間配当金の総額 330,733千円
- 2 1株当たり中間配当金 6円
- 3 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月5日

高圧ガス工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高圧ガス工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高圧ガス工業株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。